

呼吸器外科に、肺切除にて過去に通院された患者さんまたはご家族の方へ （臨床研究に関する情報公開文書）

北海道がんセンターでは、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた患者さんの過去の記録や保管された検体を用いて行います。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」（令和3年3月23日 文部科学省・厚生労働省・経済産業省制定、令和4年3月10日一部改正）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。この研究は、北海道がんセンター倫理審査委員会で承認され、当院の院長より実施の許可を得ております。

[研究課題名]

本邦における単孔式胸腔鏡下解剖学的肺切除の周術期成績に関する実態調査：

多施設共同後方視的研究

[研究代表者名・所属]

前橋赤十字病院 井貝 仁（呼吸器外科）

[研究機関名・長の氏名]

北海道がんセンター 院長 加藤 秀則

[研究責任者名・所属]

北海道がんセンター 呼吸器外科 水上 泰

[研究の目的] 解剖学的肺切除に対する単孔式胸腔鏡アプローチ（uVATS）は、その低侵襲性から、本邦においても徐々に各施設で導入されています。しかしながら、本邦におけるこれらの患者背景並びに周術期成績の実態は不明確である。単孔式胸腔鏡手術研究会では以上のような状況を鑑み、ガイドラインや臨床研究のコントロールに役立つデータベースを構築する必要性を認識しており、uVATS 解剖学的肺切除の実態調査を行うことが望ましいと考え、今回の研究が立案されました。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

2018年4月1日から2023年3月31日の間に、uVATS 解剖学的肺切除が施行された症例を対象とします。ただし、手術日が上記期間内であれば、加療による転帰日は2023年4月1日以降に及んでいても構わないものとします。

○利用するカルテ情報

カルテ情報：診断名、年齢、性別、既往歴、喫煙歴、治療歴、検査結果（画像検査、病理組織診断、他）、手術所見、術後経過など
本研究で新たに試料を採取したり使用したりする予定はありません。

○具体的な研究内容

uVATS 解剖学的肺切除症例を対象とし、その患者背景、周術期成績の実態を調査し、手術関連合併症に影響を与えた因子を明らかにします。

○研究結果の公表について

本研究の成果は国内外の学会および学術雑誌で発表する予定です。この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

○個人情報の取り扱いについて

研究に利用する検体や情報には個人情報が含まれますが、院外に提出する場合には、お名前、住所など患者さん個人を直ちに特定できる情報は削除し、研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。研究成果が発表される場合にもあなたのプライバシーは厳重に保護され、あなたの氏名や病名などが他に知られることは絶対にありません。

[研究実施期間]

倫理委員会承認後～2025年7月31日まで

*上記の研究に検体・情報を利用することをご了解いただけない場合は2024年3月31日までに以下にご連絡ください。ご連絡がなかった場合、ご了承いただいたものといたします。ご了解されない場合でも不利益を受けることはありません。なお、すでに解析に使用された情報は研究データから情報を削除できない場合がございますので、ご了承ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道がんセンター 呼吸器外科

担当医師：水上 泰

住所：〒003-0804 札幌市白石区菊水4条2丁目3番54号

電話：011-811-9111

FAX：011-832-0652